

令和6年度 県政世論調査結果の概要

○各調査項目の概要

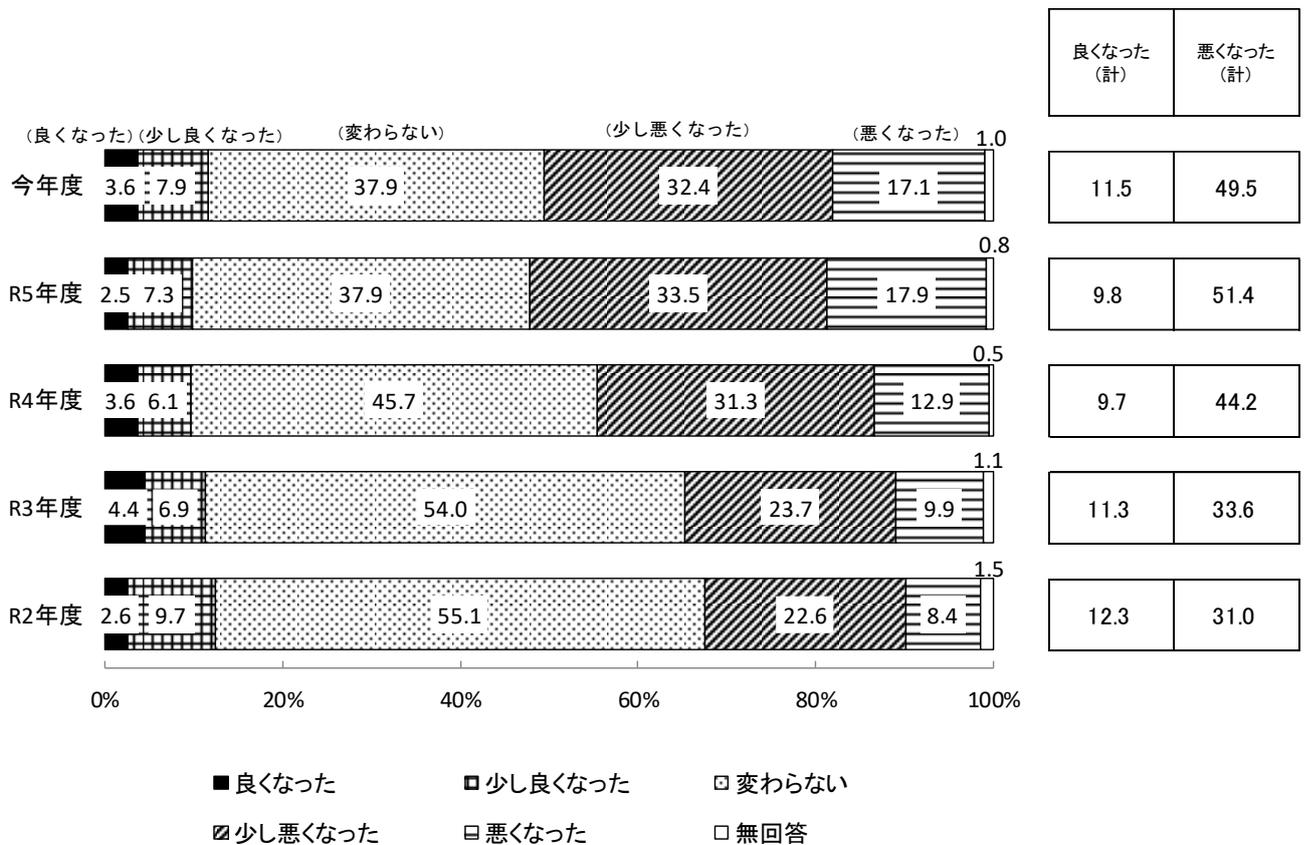
※調査結果のうち、主なものを抜粋して掲載している。
 ※数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100.0%にならない場合がある。

1 県民の生活実感

○2～3年前に比べた暮らし向きの変化

2～3年前に比べた暮らし向きは、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた『良くなった(計)』が11.5%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた『悪くなった(計)』が49.5%となっている。

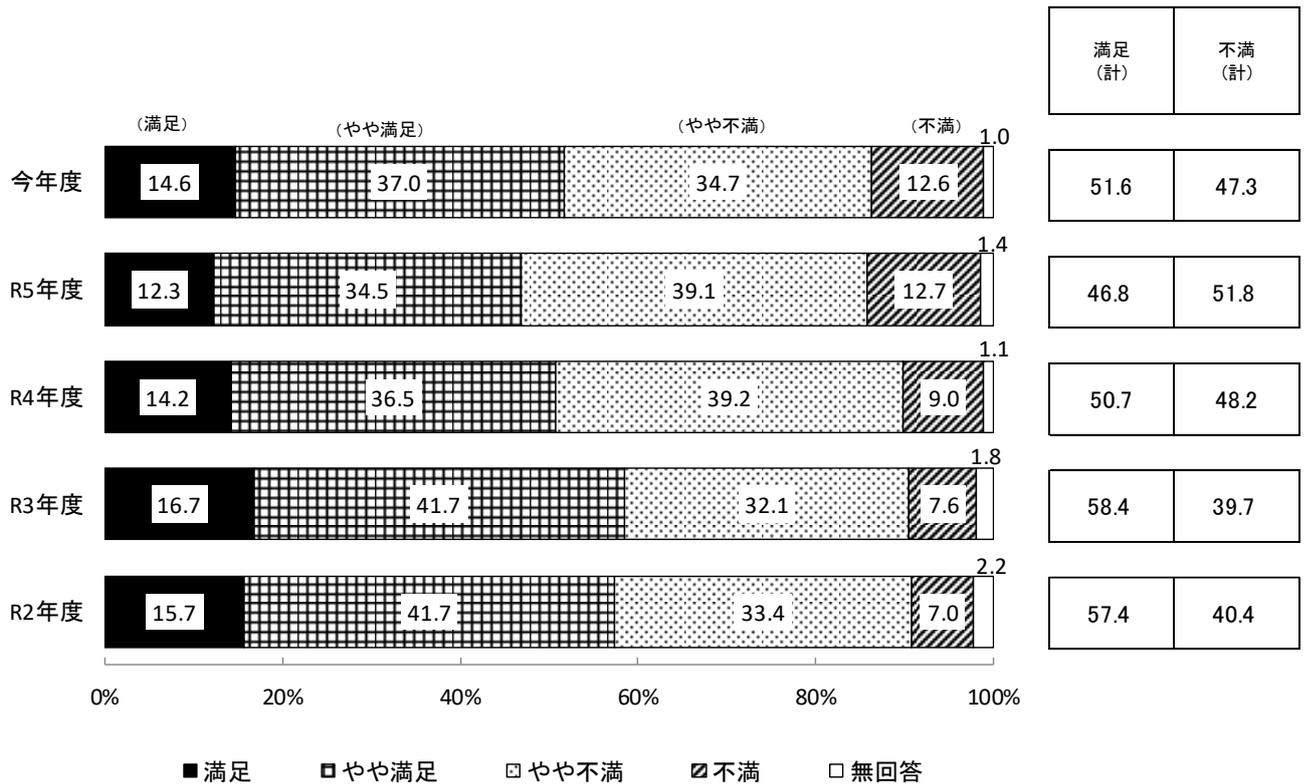
直近5年間の回答状況をみると、『良くなった(計)』が1割前後、『悪くなった(計)』は3割から5割で推移している。



○現在のくらし向きの満足度

現在のくらし向きに関する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足（計）』が51.6%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満（計）』が47.3%となっている。

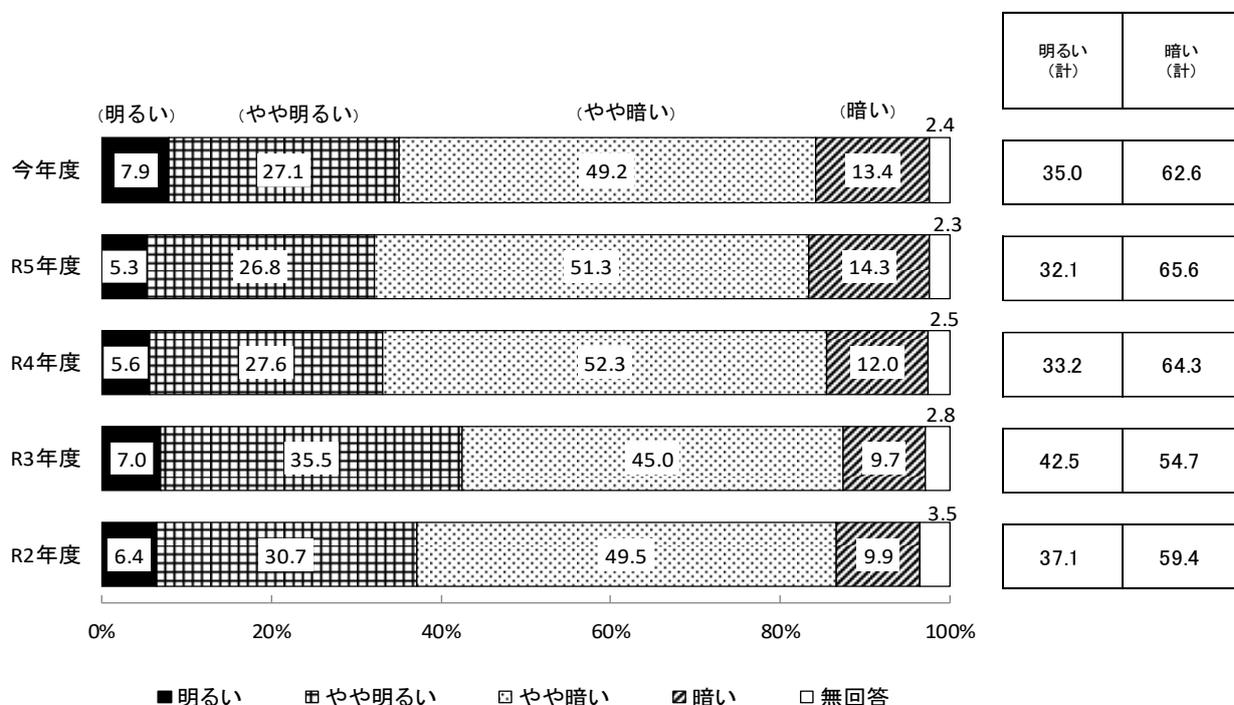
直近5年間の回答状況をみると、『満足（計）』は4割半ばから5割台、『不満（計）』は4割前後から5割強で推移している。



○今後の生活の見通し

今後の生活の見通しについて、「明るい」と「やや明るい」を合わせた『明るい（計）』が35.0%、「暗い」と「やや暗い」を合わせた『暗い（計）』が62.6%となっている。

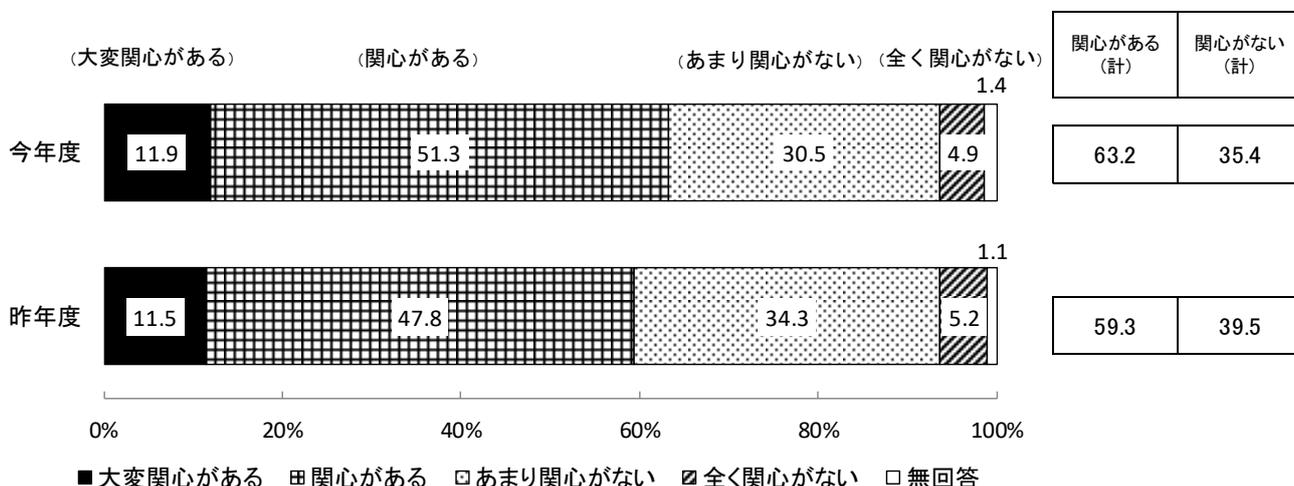
直近5年間の回答状況をみると、『明るい（計）』は3割強から4割強、『暗い（計）』は5割半ばから6割半ばで推移している。



2 政治や経済への関心

○県の政治や経済への関心

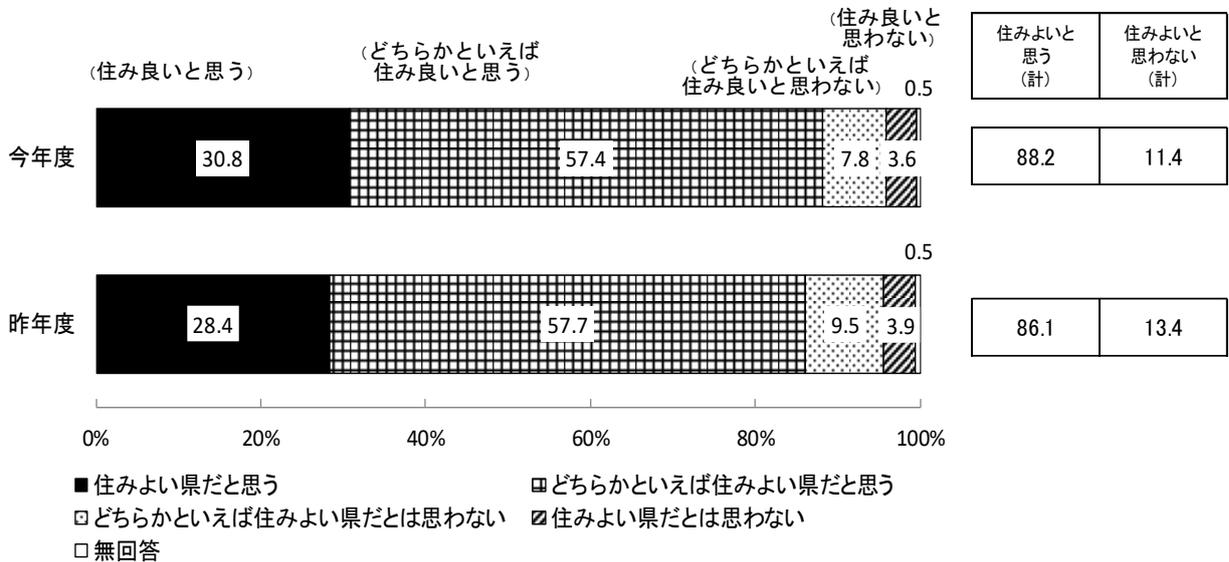
県の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある（計）』が63.2%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない（計）』が35.4%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある（計）』は3.9ポイント上昇、『関心がない（計）』は4.1ポイント低下している。



3 県取組に対する実感

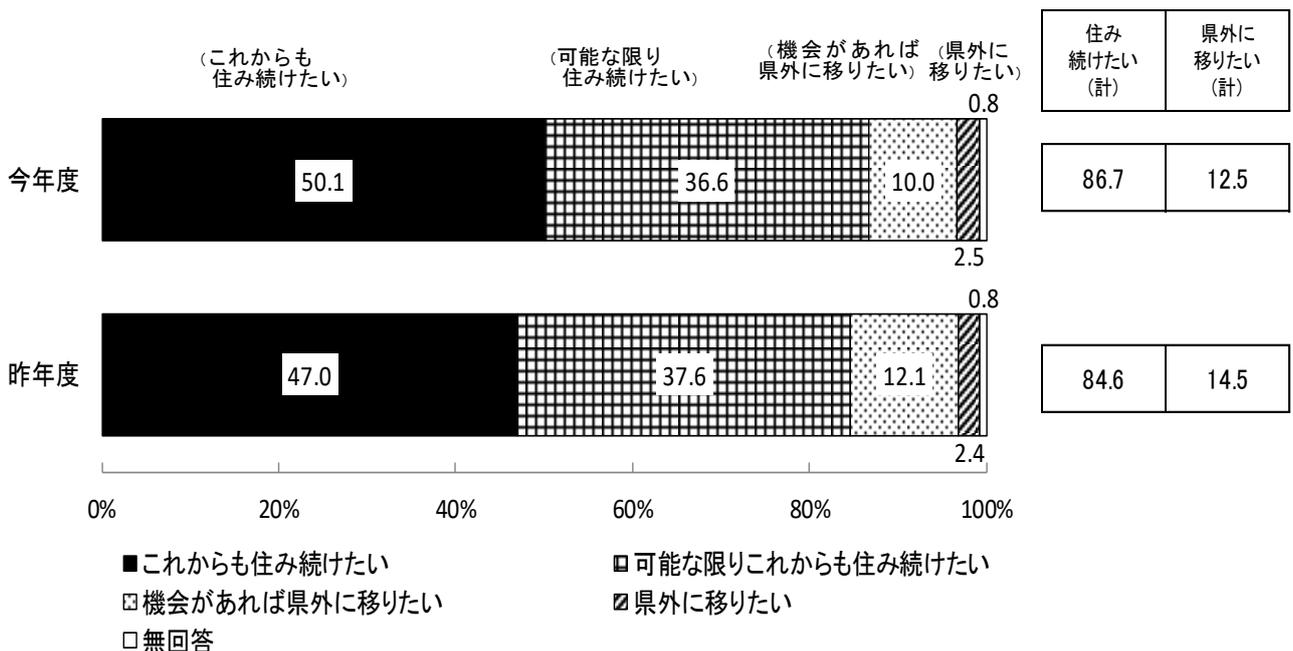
○山口県の住みよさ

山口県の住みよさについて、「住みよい県だと思う」と「どちらかといえば住みよい県だと思う」を合わせた『住みよいと思う（計）』が88.2%となっており、昨年度と比較すると、2.1ポイント上昇している。

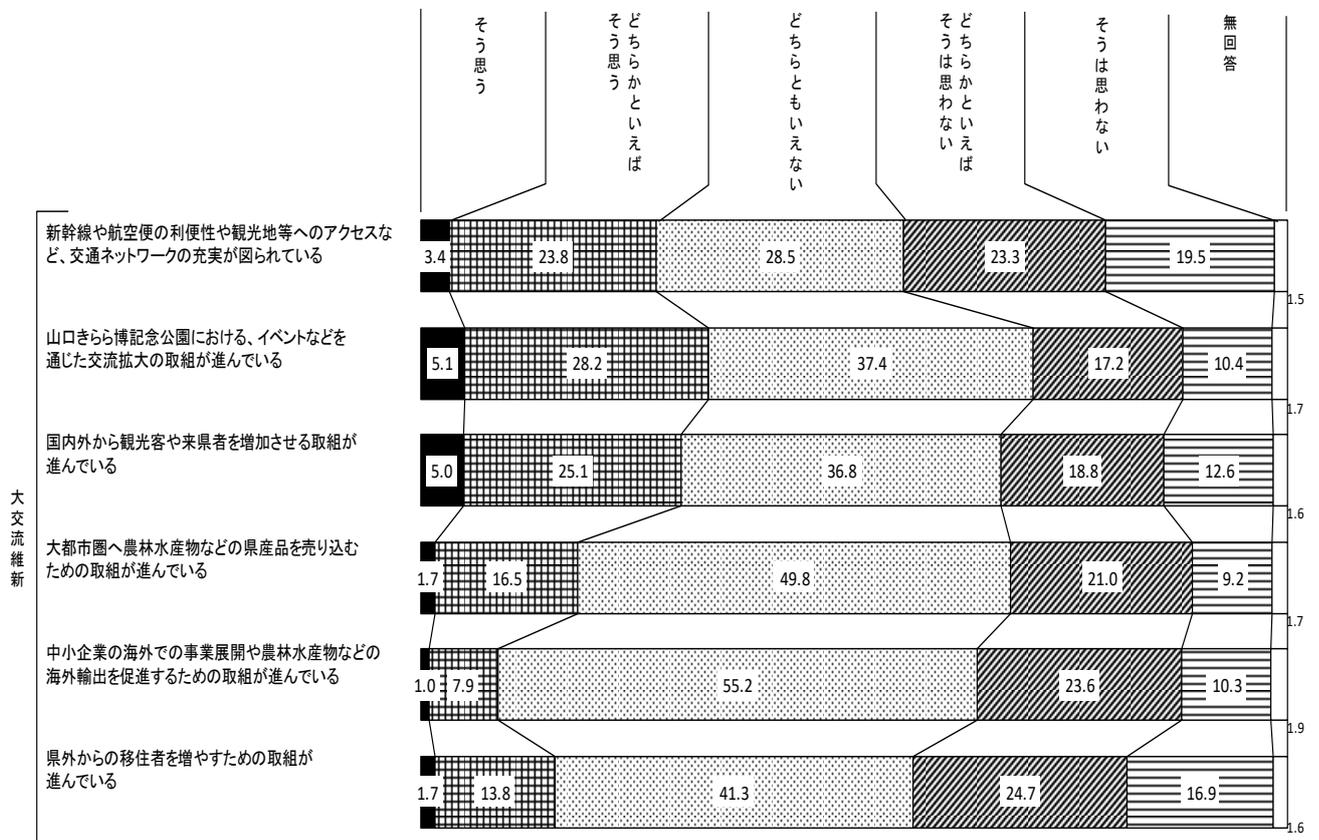
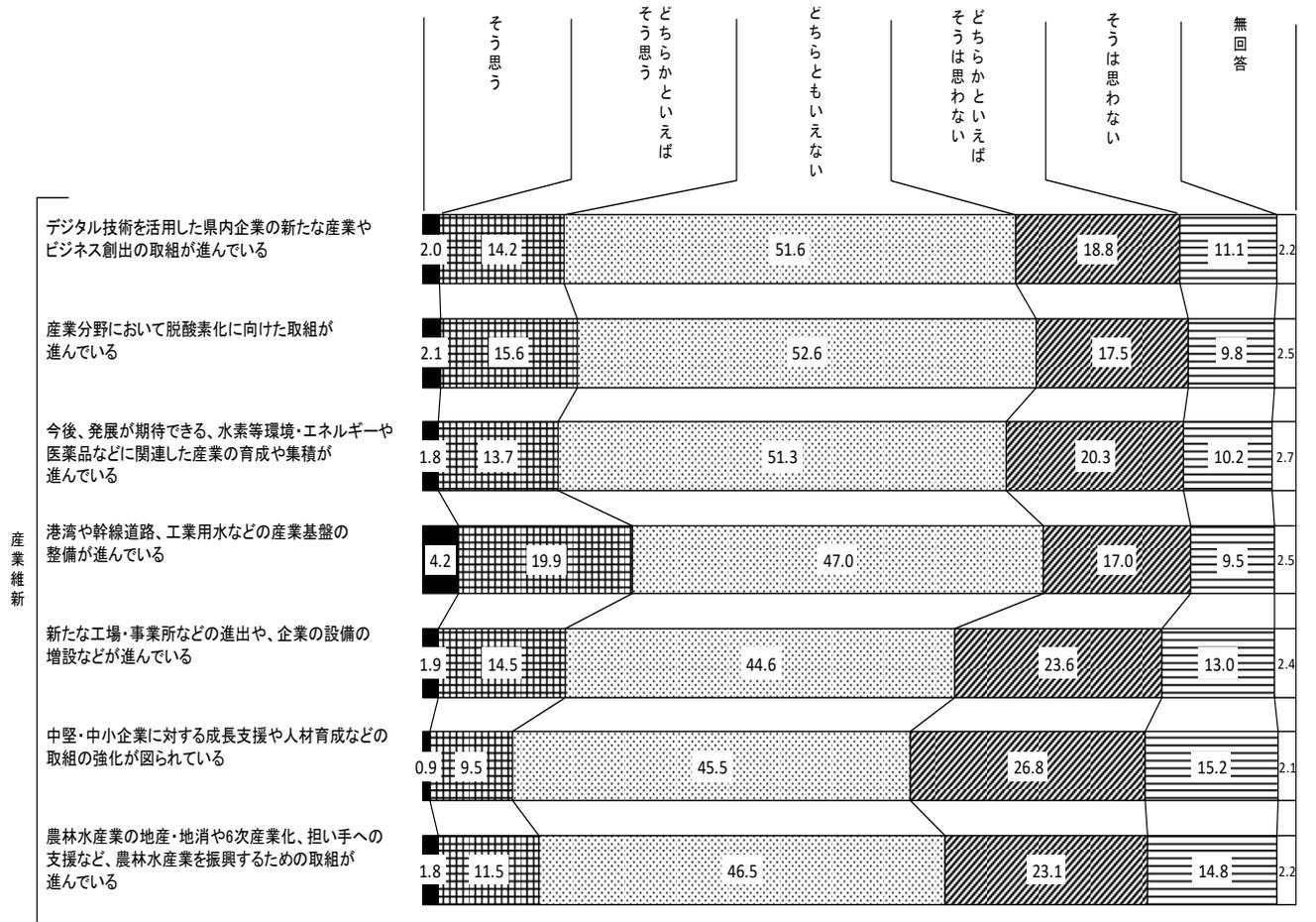


○今後の山口県への居住意向

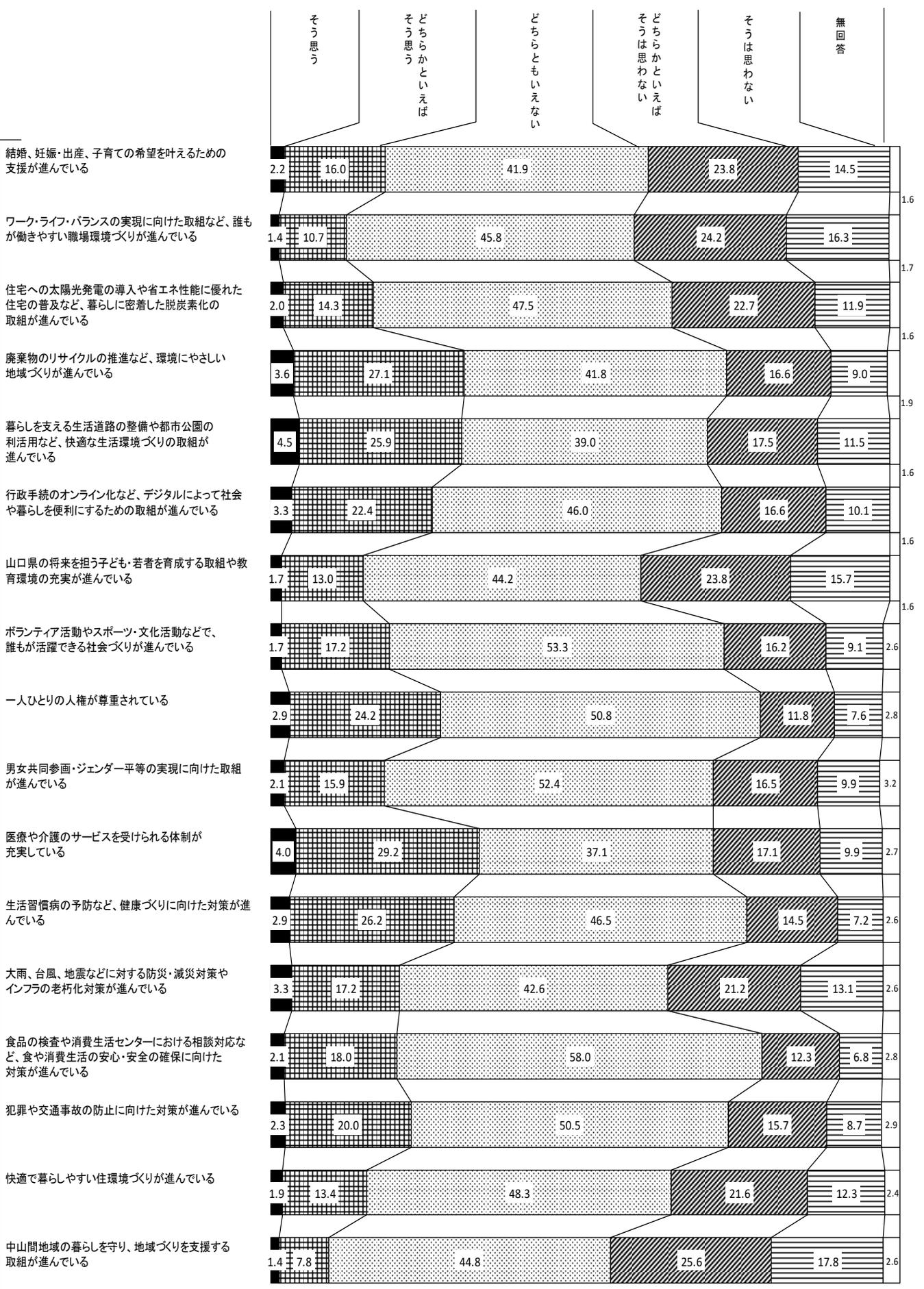
今後の山口県での居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』が86.7%となっており、昨年度と比較すると、2.1ポイント上昇している。



【県の取組に対する実感】「やまぐち未来維新プラン」の20プロジェクト等について



生活維新



行
財
政
基
盤
の
強
化

効率的で健全な行財政運営を行い、将来にわたって
持続可能な行財政基盤の確立に向けた取組が
進んでいる

